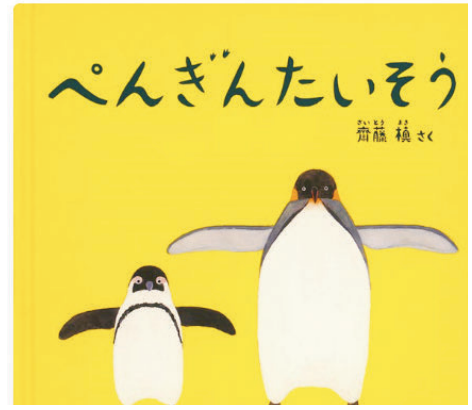




人気絵本「ペンギんたいそう」の著者がやってくる!

村立図書館 読書推進講演会

「ペンギんたいそう」の著者、齋藤槇さんを講師に迎え「ペンギんたいそう」にまつわるお話や、絵本の作り方について講演してもらいます。また、会場にお越しいただいた皆さんで「ペンギんたいそう」やワークショップ「夢うつ絵日記」を行いますので、ぜひお気軽にご参加ください。



©Maki Saito

- 【期日】**2月23日(日・祝)
- 【時間】**午後2時～3時30分(午後1時30分開場)
- 【場所】**村立図書館
- 【対象】**小学5年生以上の方 ※「ペンギんたいそう」の時間のみ、小さなお子さんも参加できます。
- 【定員】**先着80人
- 【その他】**保育サービス(無料、生後3か月～6歳が対象、先着20人)を希望する方は、2月12日(水)までに、申し込みください。
- 【申し込み・問い合わせ】**1月17日(金)以降に、電話またはお越しの上、村立図書館(☎282-3435)へ申し込みください。

講師紹介 齋藤 槇 さん

1981年、東京生まれ。武蔵野美術大学で日本画を学ぶ。動植物を愛し、「こども心」と「物語性」を大切に作品を貼り絵やステンシル、染めなどのさまざまな手法で表現している。

たくさんの色を重ね、混ぜ合わせることで深く揺らめくような色を出し、心地よい余白をもたせた作品が多い。

大学在学中から絵本作りに目覚め、著書に「ペンギんたいそう」「ながーいはなでなにすの？」などがある(全て福音館書店刊行)。

水道管の冬支度を お願いします

冷え込みが厳しいときは、水道管の凍結や破裂の恐れがあります。水道管が凍結すると、水が出なくなるだけでなく、修理代などの思わぬ出費がかさむことにもなります。事前に対策し、凍結防止に努めましょう。



お問い合わせ▼水道課業務担当(☎282局1711 内線1156)

【こんなときは凍結に注意!】

- ▽氷点下の予報が出たとき
- ▽気温が低く風が強いとき
- ▽旅行などで長期間水道を使用しないとき

【特に凍結しやすい場所】

- ▽風当たりの強いところにある水道管やメーター
- ▽北向きで日陰にある水道管やメーター
- ▽むき出しになっている水道管
- ▽家の外にある蛇口

【凍結防止策】

- ▽冷え込みが厳しいときは、必ず水抜栓の操作を行う。※中途半端に回すと水漏れが続く仕組みのため、開け閉めの際は最後までしっかりと回す。
- ▽水抜栓がない場合、蛇口から水を少しだけ出したままにする。※出した分の水については料金がかかるため、出し過ぎに注意。
- ▽露出している水道管に、市販の

保温材(布類は水分を含んで余計に凍結するので使用しない)や電気式の凍結防止帯を巻き付ける。

▽メーターボックスの中に、水道メーターを保護するように保温材(発泡スチロールや布切れなどをぬれないようにビニール袋に入れてものを詰める。※小袋に分けておく)と検針時に取り出しやすい。

【凍結してしまった場合は…】

軽い凍結のときは水道管や蛇口にタオルを巻き付け、ゆつくりとぬるま湯を掛ける。※▽破裂の恐れがあるため、**熱湯は絶対に掛けないでください。**▽ヘアドライヤーなどでゆつくり溶かすのも有効。

【破裂してしまった場合は…】

すぐにメーターボックス内のバルブを閉め、東海村指定給水装置工事業者(村公式ホームページに掲載)に修理を依頼する。